

平成30年度第7回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 平成30年10月25日（木） 18:30～19:50

【場 所】 聚富会館

【出席者】 9人（15人中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓	○	委員	平賀 敏和	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	河合 徳秋	○	委員	三浦 崇史	×
委員	東 幸子	×	委員	河合 保郎	○	委員	本吉 俊一	×
委員	大内 さつき	○	委員	小山 玲子	○	委員	森田 瞳	×
委員	小笠原 英史	○	委員	今 光江	×	委員	吉村 貴文	×

※正副会長を除き、あいうえお順

企画経済部～本間次長・三上主任

支 所 ～ 西田支所長・相原市民福祉課長

今野隊員・江崎隊員

事務局 ～ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査

(地域振興課)

【傍聴者】 4名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流（リラックス タイム）
 4. 協議事項
 - ① 将来の地域自治区のあり方について—その2—
 5. 報告事項
 - ① 厚田区あったかニュースの発行について
 - ② 厚田150周年記念事業について
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

・開会の前に、東委員、今委員、三浦委員、本吉委員、森田委員、吉村委員の6名から欠席の連絡があったことを報告する。

2. 会長挨拶

【築田会長】

・気温が寒くなってきたが、冬を前に聚富でも会議を複数できればと思います、今回2度目の聚富地区での開催となった。

リラックスしていろいろな意見を交わしたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

3. 情報交流（リラックス タイム）

- ・厚田区カローリング大会について（江崎隊員）
- ・敬老会について（厚田地区一河合保委員、望来地区一加藤委員）
- ・米の収穫（米ワングランプリへのエントリー）について（小笠原委員）
- ・厚田の文化祭について（小山委員）

4. 協議事項

将来の地域自治区のあり方について

【（厚）地域振興課 今田主査】

- ・資料1～4 参照
- ・資料1は地域協議会の協議経過を確認いただくため、各回の主な協議事項を示した。
- ・表中の「審議」は地域協議会の審議事項として定められた議題を協議した会議、「★」は地域からの提案で課題を協議した会議、「座談会」は議論を活性化させるため委員以外の方にも参加いただき意見交換を行った会議、「研修」は外部から講師を招き、地域づくりに関する研修を行った会議を示している。
- ・資料2は地域自治区の成果を確認いただくため、地域協議会の協議を経て実際の取り組みへと結びついたものを示した。
- ・資料3は地域振興団体の現状を確認いただくため、各団体の会員数、最近3年間の新規会員数、平均年齢を示した。
- ・資料4は地域振興団体の活動実績を確認いただくため、団体別に年度毎の活動回数やイベントへの参加人数等を示した。
- ・将来の自治区のあり方を検討するにあたり、これまでの厚田区における地域での活動を振り返り、確認いただくことを目的に資料を作成した。よろしくご審議のほどお願ひしたい。

【 築田会長 】

- ・資料ではこれまでの地域協議会の取り組みが分かる。
- ・個人的には、地域協議会が始まった当初は、委員は地区の代表として参加していたと思うが、少しそういった雰囲気が薄まっているように思う。
- ・地域振興団体の活動のきっかけや経過、成果、課題を共有し、地域自治区の将来のあり方を検討したい。

地域振興団体の活動について

○「厚田アクアレーン実行委員会」について

【 築田会長 】

- ・私が所属する「厚田アクアレーン実行委員会」は、厚田には他に誇れる景色がたくさんあり、絵画でPRできないか、地域として魅力を発信することができないかという発想の中、生まれた。
- ・当時、中札内村で開催されていたビエンナーレという絵画展を参考にした。
- ・これまで4回の絵画展を開催してきたが、参加者を増やすことが課題。参加者を増やす試みとして、これまで大きなサイズのみを対象としてきたが、今年の第4回展では「小さな部門」を設け作品を募集した。
- ・個人的にはもっと参加しやすい方向をつけることができればと思う。「見て」喜ぶから「参加して」喜ぶものにした

○「厚田こだわり隊」について

【 河合徳委員 】

- ・最初は農産物を販売する部会から始まった。
- ・思いのある人を集め、話をしているうちに「もっと厚田をPRしたい」という機運が高まり、豚まんの開発へとつながっていった。
- ・お蔭様でイベント等でも受けが良く、これからも続けていきたいと思うが、人手がかかるのが課題である。

【 築田会長 】

- ・販売や開発等で農協の係りはあるか。

【 河合徳委員 】

- ・農協の盛重さんが所属しており、加工品等の開発で協力していただいている。

【 築田会長 】

- ・具体的な課題はあるか。

【 河合徳委員 】

- ・販売等で手間がかかり、都度人手を必要とする。
- ・会員は 32 名だが、実質活動できる人は限られる。

○「厚田区コミュニティゆめ倶楽部」について

【 河合保委員 】

- ・合併前は厚田村体育協会がスポーツ振興事業を行っていたが、合併後は石狩市体育協会に統一され、厚田独自の事業が行えなくなっていた。
- ・そこで、各自治連合会の体育振興会の人たちが集まって、せっかくそれまで続けてきた活動をこれからも続けたいという意見が挙がり検討をはじめた。
- ・地域協や自治会とも協議し、「スポーツ」だけではなく、「食」も含め地域間世代間の交流を進めるということで、最初の 3 年間、地域振興基金をいただき、事業を実施した。4 年目以降、現在まで継続している。
- ・現在は夏祭りやビアガーデンなど、新たな企画や他のイベントにも参加、その収益を活動費に充てている。
- ・ミニバレー大会などは、区外からの参加も増えており、これからもいろいろな所に呼びかけて継続したい。
- ・毎年 6 月の「スポーツと食の体験」は日程が地域や学校行事と重なり、参加者が増えていないのが課題である。早い段階で関係先と調整し、連携を図りたい。

○「厚田ライフサポートの会」について

【 河合保委員 】

- ・当初は聚富地区の方から「国道沿いのバス停、病院、老人会に行く“日常の足”がない」と問題提起されたことからまずは実態把握するため、高齢者に聞き取りをする事からスタートした。
- ・調査の結果、移送事業が必要となり、試験的に無償でボランティアを実施した。
- ・多くの利用があったので、運輸局とも相談し、過疎地有償運送事業（現 公共交通空白地有償運送事業）として実施する事になった。
- ・当初は望来地区の利用が中心だったが、徐々に厚田地区の利用も増えていった。
- ・課題はサポーター自身の高齢化。若い世代に活動に参加してもらいたいが、仕事をしている人では時間がとれない。退職した 60 代の人が入ってくれればと思う。

○「あつたの森支援の会 やまどり」について

【 河合保委員 】

- ・森林の保全活動を通し、厚田の山のすばらしさを地域と共有し、後世に伝えることを目的にスタートした。
- ・草刈りや、植樹、地拵え（植樹のための土地の整理）などを行っている。
- ・魚つきの森の地拵えは年 2 回漁協と一緒に実施しており、小学生も参加してくれる。
- ・キャンプ場や恋人の聖地の草刈りなども行っている。
- ・当初は 50 名以上の会員がいたが、現在は 33 名になった。
- ・草刈りでも多くて 10 名、平均 7~8 名で実施している。
- ・当初は植樹後の下草刈りも会で実施していたが、面積が広がってきたためできなくなり、市に頼み手伝わってもらっている。
- ・会員の平均年齢は 70 才近く、最高齢者は 85 才位になっており、高齢化が進んでいる。

意見交換

【 築田会長 】

- ・皆さんから質問はないか。

【 大内委員 】

- ・イベントへの新しい参加者がいない。出てくる人がいつも同じである。
- ・子どもの数も減り、さらに部活動などでイベントへの参加も減っている。
- ・最近では競うことを嫌う子どもが多く、ウィンターレクのスキー競技など、イベントでも別の方法を考えていかなければと思う。
- ・地域振興団体もいつも同じ方が活動しているので、新たな人に入っていただきたいと思う。

【 小山委員 】

- ・本日「資料室サポートの会」は出席していないが、道の駅の展示を見た人が感激されていたので、今後の展開について聞きたいと思った。

【 平賀委員 】

- ・朝市のお客さんから「朝一食堂はやらないのか」と尋ねられることがある。「地域賑わい呼び起こし隊」が実施していたが、なぜ今年はなかったのか。

【 川村主査 】

- ・朝一食堂は朝市の集客効果などを検証するため、H28～29年で試験営業を行った。
- ・道の駅の開業で朝市への集客効果は現れており、朝一食堂については一定の役割は終えたと判断している。
- ・現在、会のメンバーを中心に小説『厚田村』を読む会』定期開催しており、新たな賑わいの呼び起こしに向け活動を継続している。

【 渡邊副会長 】

- ・道の駅が開設し、多くの人が訪れるようになり、近説遠来の「遠来」部分は良くなっている。
- ・「近説」はどうか。こだわり隊の直売所がなくなり、少し身近でなくなったかなと思う。
- ・今後は、地域の皆が楽しくなることを考えていければと思う。

【 築田会長 】

- ・将来の地域自治区のあり方を考えるということで、まずは現状と課題を活動に携わる方を中心に聞くことができた。
- ・今一度、配布資料に目を通していただくと、今日の話の理解が深まり、新たに「こうしたら良くなるんじゃないか」といった問題意識も出てくると思うので、それらを踏まえ、次回、将来に向けたあり方、方向性を協議したい。

5. 報告事項

厚田区あつたかニュースの発行について

【 加藤委員 】

- ・厚田区あつたかニュース（第13号）が完成したのでご報告する。
- ・本日報告後、11月初めに回覧する。
- ・区内の近況やイベントなど、読んだ方が楽しい気持ちになれるようにとの思いで記事を構成した。
- ・記事の作成にご協力いただいた方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

厚田 150 周年記念事業について

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・40年前の厚田 110 周年の事業として、厚田公園にタイムカプセルが埋設されたことが引き継がれ、このたび自治会を中心とした実行委員会で事業を実施する。
- ・11月3日（土）11：00から厚田総合センターにて記念式典を開催する。
- ・地域の方など120名に案内し、現在のところ60～70名の参加となる見込み。
- ・式典では厚田音頭、心叫太鼓等の実演も企画されている。
- ・タイムカプセルは事前に発掘し、良い状態で保存されていたことを確認している。
- ・式典会場では発掘物の展示、8ミリ映像の上映を企画している。
- ・発掘物は道の駅でも展示を予定している。

- ・記念冊子については以前発行した「あつた百話」に新たな話を加え、百五十話になるよう区内外の方の協力を得て作業を進めている。年度末には区内全戸に配布する。
- ・また、式典当日は「厚田音頭の歌詞がプリントされた手ぬぐい」と「当時の映像を編集したDVD」を記念品として来場者にお配りする予定。

【 築田会長 】

- ・映像は後で観ることはできるか。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・ご希望があれば貸し出しできるよう支所で対応したい。

6. その他

地域おこし協力隊活動予定について

【 (厚) 地域おこし協力隊 今野隊員 】

- 「第8回 おしゃべり上映会オペラ編」について
 - ・日時：11/16（金）1回目 13:00～16:00、2回目 18:00～21:00
 - ・会場：厚田保健センター多目的ホール
 - ・題材は「フィガロの結婚（モーツァルト作曲）」
 - ・参加費 200 円（飲み物、おやつ代として）
- 「第9回 おしゃべり上映会オペラ編」について
 - ・日時：12/26（水）1回目 10:00～12:00、2回目 14:00～16:00
 - ・会場：厚田保健センター多目的ホール
 - ・題材は「ヘンゼルとグレーテル」
 - ・参加費 200 円（飲み物、おやつ代として）
 - ・是非ご来場いただきたい。
 - ・上記のほか、12/27（木）に落語の上映会も予定している。
 - ・皆さんからもいろいろなアイデアをいただき、今後も企画していきたいと思う。

【 (厚) 地域おこし協力隊 江崎隊員 】

- 「ビーチコーミング」の開催について
 - ・ビーチコーミングとは浜に落ちている漂着物などを拾い観察すること。11/23（金）にイベントを予定している。
 - ・詳細は協力隊通信でお知らせするので是非ご参加いただきたい。

あいろーど厚田 環境フォーラムの開催について

【 (厚) 地域振興課 今田主査 】

- ・10/28（日）、道の駅で開催する。
- ・「おもしろ環境ゼミナール」や「パネルディスカッション」、子どもが楽しめる木育コーナーなどがあるので、地域の方とお誘い合せの上、ご参加いただきたい。

議会報告会と市政懇話会の開催について

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・10/26（金）18:00 から議会報告会が厚田保健センターで開催される。
- ・どなたでも出席できるのでご参加いただきたい。
- ・また、11/19（月）18:30 から市政懇話会が厚田保健センターで開催される。
- ・こちらは5連の会長と市長との懇話会となるが、情報提供させていただく。

○次回の日程について

平成30年11月22日（木）18時30分～ 厚田保健センター

平成30年11月22日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 築田 敏彦